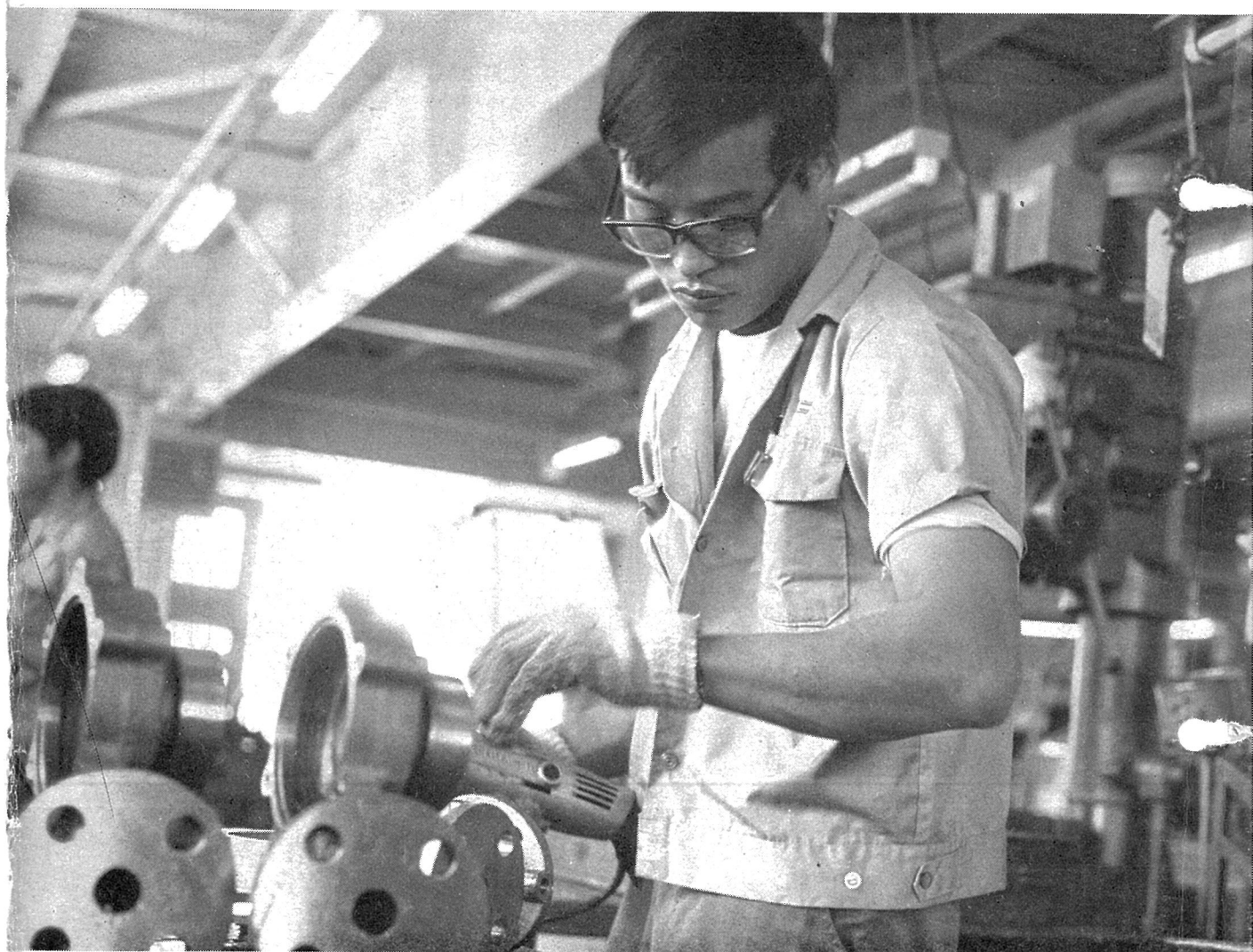


広報

のあさひ

No. 212

49 / 7



《ふるさとで働こう》

西原に誘致されたアサヒニクニが今年4月操業を開始し、6月17日創業式が開発センターで盛大に行なわれました。アサヒニクニの企業誘致は、4年前からの計画であり、ふるさとで働く日を夢みて、二十数名の方々が川崎まで出かけられました。今、

ポンプづくりにはげむ社員の方々の目には緑豊かなふるさとで働ける喜びがあふれていました。物心両面にわたる豊かなふるさとをみんなの手で建設してゆきたいものです。

＜写真＝生き生きと作業に励む工員たち＞



新しい農業を開く

望まれる農業者の団結

先月号のこの欄では、「新しい農業をどう開く」と題して、町の総合開発基本構想のなかで考えているこれからの農業のあり方を紹介しながら、危機に直面している農業を、どう開いてゆけばよいのかを考えました。

昭和六十年を目標にしたこの基本構想は、もとより町当局だけでなく振興対策協議会を中心として、多くの方面の方々のご意見をもとにしてつくられたものであり、よりよい町の発展のために、生かされなければなりません。

しかし、この構想にもられた多くの夢は、町民一人一人の自覚と努力なしには、決して達成されないでしょう。

そこで今月は、新しい農業を開くために、実際に意欲的に取り組んでいる若い方々に登場していただき、今後の農業の課題についてご意見をうかがいながら、これからの課題と、すすむべき方向をさぐってみようと思います。

土地を効率的に

利用しよう

まずはじめに、町の基本構想にもられている農業振興策はどうなっているかをみてみましょう。

これは先月号でもふれましたが基本的な考え方は次のようになっています。

①生産基盤の整備を強力にすすめる主産地を形成し、自立経営農家の

育成をはかる。

②協業化を推進し、機械化による省力栽培体系をととのえ、労働生産性を向上させる。

③果樹、養蚕、工芸作物、畜産などについて、規模を拡大し、集団化、団地化をすすめる、専業化をはかる。

④生産組織を整備し、農業経営の構造改善をすすめる、新しい農業を確立していく。

⑤とくに果樹については、農産物

加工をすすめる、付加価値を高めて販売する。

そして、これらの構想を夢にお知らせするために、具体的な対策として、

①町の農業にとって、農用地の五七割をしめ、今後農用地に占める割合も多くなる畑樹園の整備など畑作振興をどうするかが大きな課題であり、適地適作を考えて作目を設定し、畑地の基盤整備をすすめていく。

②農用地の確保をはかるため、開発可能地の開発をすすめることも、既存耕地の高度利用をはかる

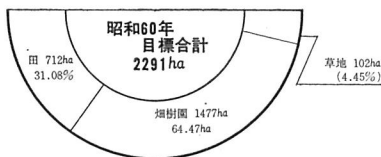
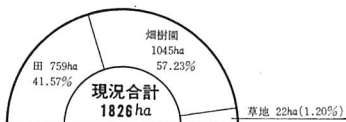
「労働生産性を高めるためにも、ほ場整備は欠かせない年」今、基盤整備がすすめられる中郷地区」

考え、委託農業、請負農業をすすめる、労働力の効率的な活用をはかる。

④畜産の拡大、畜産公害の防止などを考え、畜産団地の造成をすすめる。

といったように、土地や労働力の効率的な利用をはかり、生産基盤を高め、六十年には、専業農家一戸当りの所得を六百三十万円にしようというものです。

経営耕作面積の目標
(総合開発基本構想より)



しかし、この目標を実現するには、容易ではありません。

町や農協が強力な施策をすすめることはもちろんですが、なによりも、農家自身の自覚と相互の理解、協力が望まれます。

農家相互の

理解と協力を

農家自身の自覚と相互の理解・協力—そうしたことは口でいうのは、簡単なことです。

しかし、「総論賛成・各論反対」のことはいいあらわされるように、いざ自分のことになるとなかなか割り切って考えることができないのではないのでしょうか。

わが町にも、若い命を燃やして農業に意欲的に取り組んでいる方々がいます。

そうした方々が、未来の農業へ





の夢をもち、そのために悩んだり問題に取り組んでいる姿を紹介しながら、みんなで真の相互理解とは何なのかを考えてみたいと思います。

農 業 人 の 団 結 を

はじめに、舟渡でりんご作りに意欲を燃やしている堀義三郎さん

(写真)にご意見をうかがってみました。

―農家として行政にのぞむこと、またかかえている問題があったら話してください。

堀「もちろん、町当局だけでなく総合的な行政にのぞみたいことは多くあります。しかし、何よりも忘れてならないのは農民同志の団結ではないでしょうか。

―農民が結束してこそ、現在の危機をのりこえられると思うのです。」

―団結が必要であるということですが、どんなときにそれを感じますか。

堀「たとえば品種改良など技術指導などの場合には、どの農家も農協などの指導をうけるわけですがいざ出荷の段階になると、個人個

「専業農業をめざし大暮山には、すばらしいりんご団地がつくられた」

人が勝手に農協を通さずに売ってしまう。りんごの場合などは、日本でも有数の産地であり業者も多くはいっているところであってそうしたこともできるわけですが、現在の

のような経済危機のときこそ、農民が団結しなければ価格問題など業者の思い通りにされて、さらに農家は苦しくなると思うんです。

―そのときだけの自分のためだけでなく、長期的にみんなのためを考えて行動することが、結局自分のためになることを忘れてならないと思います。」

品質を落す

兼 業 化

堀さんはりんごのほか、ぶどうと米をつくっておられるわけですが今後どのようにしていくのか、経営規模などの点で問題はありますか。

堀「経営規模としては、現在まで一畝のりんご園を造成し、さらに大暮山の第二次構造改善に加わって約一・五畝のりんご園を造成する予定なので、その点は問題ありません。そして、順次米のほうは委託を考え、りんごごとぶどうだけにしたい考えです。また種類は、スターキングと富士を予定し、労働のピーク時をで

きるだけくずしたいと思えます。ただ心配していることは、これから企業誘致が進めば、りんご農家も兼業化が進むのではないかと思います。

―これからの企業は週休二日制もと入れられ土曜日曜でりんごをつくれるようになるでしょう。しかし、そうなるとうしても、質のよいりんご作りは望めなくなります。せっかく意欲のある農家が品質のよいりんごを生産しても、そうしたもののためにここまで築きあげてきた全国有数の主産地としてのイメージがこわされてしまうことにもなりかねません。現在の農家を見ると、企業につとめても、農地をばなさないで農業をやっているようにしている。それは企業に對して不安をもっているからだと思えます。だから、その職場一本で安心して働ける企業がほしいと思います。それが結局は、農家のためにもなるのだと思います。それが農工一体の真の姿ではないでしょうか。」

堀さんは、農民の団結が今こそ必要であること、さらに日本一と

昭和60年所得目標 (総合開発基本構想より)

産 業 別	年 次	所 得
第一次産業 (4.24倍)	45	25.3万円
	60	107.4万円
第二次産業 (3.34倍)	45	90.8万円
	60	303.7万円
第三次産業 (4.46倍)	45	60.7万円
	60	283.1万円
総 額 (6.73倍)	45	40.5万円
	60	274.5万円

専業農家所得目標

区 分	年 次	昭和46年	目標年次(60)	対比60/45
就業者一人当り所得		53万円	210万円	3.96
専業農家所得		105万円	630万円	6.00

もいえる主産地として名を高めたりんごの品質を、町ぐるみで守っていかなければならない、一度その名を失うと、二度ともどつてはこないのだと強調しておられました。

養蚕簿記で

経営合理化

つぎに、八ッ沼で養蚕に意欲を燃やしている鈴木好一さん(写真)をたずねました。

鈴木さんは、今年三月養蚕の優秀経営農家として、農林省と全国養蚕農業協同組合連合会共催の第十八回全国養蚕青年養蚕婦人体験発表会に、県代表として参加し、「養蚕青年の部」で優秀農家として表彰されています。

「優秀農家として表彰されたという事です。が、どのような考え方で経営をなされたのかお話し下さい。」



鈴木「成人式で女性の絹の和服を着た姿にうたれて以来、養蚕をやろうと決意したのでしたが、いざやる段階になってどこをどうすればよいかわからなかった。そこで養蚕簿記をつけて経営を分析しました。それがムダを省くための資料として大いに役にたちました。」

技術面では蚕舎二棟に、給桑台車を二台導入し、一段と二段の交互の蚕座をつくり、五令の最多忙期には計画的に買い桑をし、上簇は全面的に自然上簇を取り入れて省力化をはかったわけです。

また桑園も、剣持ちに統一し、専用化して、健康な桑園づくりに努力したわけです。」

まゆ生産

三トンめざす

「経営の合理化、省力化によって昨年の二倍近い収量をあげることができたという事です。が、今後の抱負やかかえている問題などがあれば話してください。」

鈴木「今後とも温風暖房器、エルバ（動力せん定バサミ）などの導入により省力化をはかり、専用桑

園として三羽を開こうしたい考えです。しかし、なかなか思うように土地が手に入らず困っています。また今後非常にむずかしいことになると思われるのは雇用問題です。給桑台車の全利用、自然上簇の完全化などにより省力化をはかることはもちろんですが、雇用労働の計画化、買い桑の計画化が必要であると思っています。」

「今後の見通しについてはどう考えていますか」

鈴木「私としてはこうした技術導入、省力化により年間三トンの収量をあげたいと思っています。ただ、私たちは良質の繭を多くつくるために意欲を燃やしているわけですが、農協出荷となるためによい繭を生産しても、他の農家の繭といっしょになり平均的な繭と

して出荷されてしまう。そこにかかり切れないのを感じます。出荷体制の合理化と、規模拡大をする場合の土地のあつ旋など、きめ細かな配慮をお願いしたいと思っています。」



（ぶどうなども産生過剰になりつつある。）
計画的な団地造成が必要だ。

と殺もやれる

養豚経営を

鈴木好一さんは、桑園の専用化をはかるため、規模拡大をしたいがなかなかむずかしい、また良質の繭をつくるため意欲的に取り組んでいる者のために、市場の合理化をのぞむなど、個人の力では解決できない問題のための配慮を、町や農協が一体となってやってほしいといっています。



鈴木「やはりおっしゃるとおりです。現在の状況では労働報酬のことも考えると赤字になっています。飼料一トンあたり約五万円ぐら

いだったのが現在では七万円にもなっています。来月よりやや下がるといわれているがそれもほんの少しで、肉豚の単価は少しも上がらない、ほんとに困ったことだと思っています。」

「経営規模拡大などということは考えていませんか。」
鈴木「現在の状況では考えられません。飼料負担の占める割合は全経営費の中の七割近くも占めていることを考えると、全面的に外国にたより、その変動のあおりをまともにうける飼料をつかっている養豚経営では不安定で、とても考えられません。それよりも、町内の養豚経営農家が結束して、と殺をして自分らで肉として売ることのほうが望みがあると思います。」

これからの養豚は、と殺をやりに肉にして売ることまで考えるべきだ、と鈴木さんは語ります。

便利な

電話の

使い方



夏休み/行楽シーズン到来

〈おでかけまえの

プランにぜひご利用を〉

一七七の天気予報と

三一一三三三五の道路情報

◆お出かけまえには行先の天気
が気になります。

「一七七」をダイヤルして、
空模様をお確かめください。

◆マイカーのかたがたに絶対必要なのは、行き先の道路の情報
です。

山形(〇三六)三一一三三三五

(道路交通情報)をダイヤルし
ますと県内主要道路の情報を聞
くことができます。

どうぞご利用になってみてく
ださい。

先方もあなたも困る

「かけちがい」

「ツーン」という発信音は、
ダイヤルOKの合図です。

これを聞かないでダイヤルを
回すのはまちがいのものと。

まちがいの電話は、受ける方に
とっても迷惑。かけるあなたも
時間のムダ、お金のムダ。お互
いに損です。

し尿利用で

肥よくな土壌に

「ほかに問題点はありませんか。鈴木」何といっても飼料の値上りが一番の問題であるわけですが、

最近になって、公害だといわれることに頭を悩ませています。私としては、この地（清水）に指導を受けて豚舎をつくったわけですが、清掃管理なども十分やっているつもりです。

最近になっての公害の声は、住民の意識の変化によるものと考え



（飼料値上りなど、畜産農家の経営は苦しい。しかし、そうやって嘆いているだけでなく、問題解決のために、自分から話し合いの輪を広げていくことが大事だ。）

られますが、やはりこれで生計をたてている者のこともっと考えてほしいと思います。

住居地域からせつかく離れたところに豚舎をつくっても、そこに住居がたてられ、住民の要求が通って再び豚舎移転となった例なども聞いています。

住民の温かい理解と配慮がほしいと思います。

し尿などを処理するため養豚農家が集まってバキュームカーを購入しましたが、一部、近くの畑に肥料として入れておりますが、これにも苦情がきています。

他県では、安定的かつ肥よくな土壌づくりのため、積極的に畜産農家のし尿等を利用していていると聞いています。私もそうした農家がおれば喜んでおわけしたいと考えているのですが、そうした農家がでてこない。そうしたところにも農家の意欲的姿勢のなさがかげえらると思います。それにしても住民の協力・理解がほしいですね。」

鈴木さんは、飼料の価格の安定と、もっと農作物、牛豚肉などの価格の保障など総合的な農政をすすめてほしい、また公害問題について住民の暖かい理解がほしいと語っておられます。

年代をこえた

話し合いの場を

以上のように三人の方々からご

意見をいただきました。

この方々は経営規模、経営技術など多くの面で、それぞれの分野で先導的な役割を果たしています。

しかし、意欲的に取り組む農家であるからこそ、かかえている問題も多いといえます。

その中には、出荷・加工などの流通上の問題や、飼料肥料や農産物の価格の安定など、国の総合的な農政の中で考えられなければならない問題もあります。しかし、農民の団結や経営規模の拡大、公害問題などは、町民の相互理解、相互協力のなかで解決できる問題です。

一つ農民の団結という問題にしろばるならば、農民一人一人の意識を改める必要があるでしょう。

農家は確かに一人の経営者です。自分の思う通りに仕事をすすめてゆくことになるでしょう。

しかし、農家一人一人が自分のおもわくだけで動くならば、それこそ自分の首をしめるようなことにもなりかねません。

企業が、手足となって働くもの頭脳の役割を果たすもののように分業し、多くの労力を費していることを考えるならば、農家一人一人の力がいかに弱小であるかを考え、町・農協・農家が一体となつてこそ、他産業に負けない経済力を養うことができるのだと思います。

ここに登場していただいた方々はそれぞれ、同じ仕事をもつグル

ープ、りんご研究会、蚕伸会、養豚研究会のなかで技術研究、相互研修をし、話し合いの場をもっています。

しかし、堀さんが「町の連合青年団あたりで自分たちだけでなく我々三十代の仲間とも話し合いの場をもつてほしい、それが三十代の仲間を奮起させる導火線にもなるんだが……。」と話しておられるように、部落内で、また年代をこえて、多くの話し合いの輪をひろげることが、すべての解決につながる道ではないでしょうか。

農業の危機、それは後継者不足の点でもっとも深刻です。

意欲のある農家をより多く残すには、後継者をもつ問題を一つ一つ自分ならばどうするか、といった自分の課題として考えることが今こそ必要なのではないでしょうか。

以上のように、今月は「新しい農業を開く」というテーマで、実際に農業に取り組んでいる三人の方に登場いただき、意見を出していただきました。

三人の話にもあったように、資材の値上りの問題、規模拡大の問題、労働力の問題、流通や加工の問題、農業公害の問題など、いろいろなことが提起されました。これらの問題を解消し、新しい農業を開いて行くことは容易ではないようです。農家の人たちの、なおいつその奮起が望まれます。

議会だより

広域老人ホーム

問題などを審議

六月定例議会

六月定例議会は、六月二十四日招集され、町長の町政一般報告のあと広域老人ホームの入所問題などを審議し、二十五日全議案を可決して閉会しました。

このときの一般質問の内容をお知らせしたいと思います。

佐竹 廣 当町の文化財の安全を考え、広く町民に見せられるように、旧山形銀行の土蔵に集めて保存する必要があるか。

町長 一ツ沢の民具など一部は集めて保存している。しかしまだ具体的な案としては持っていない。新しい施設が必要なのではないかとも思っており、今後検討したい。

教育長 文化財といったものは特に古文書などが多いだろうが、譲っていただけるものは譲ってもらい保存するが強制はしたくない考えです。

長岡周真 朝日町にも誘致企業はありつき、工業の出荷額の大幅増加など商工業の発展がうかがわれるが、真に農工一体をすすめるために、商工観光課の設置が必要

ではないか。

町長 町でも商工業の発展を期するため、係三名を配置している。この数は、近隣の他町村と比べても少なくなく、今後とも企画開発室との連携をとりながらやっていきたい。

長岡周真 役場の中枢ともいべき企画開発室が課でなく議場にも室長が出席できないのはおかしいのではないか。課制が必要ではないか。

町長 課を多くすることだけでは住民サービスを向上させることではない。現在、業務体制の抜本的な改善を検討中です。

若月清五郎 白倉地内の地すべりによる問題について、国・県の考え方および町の対策はどうなっているのか。また関連して宮宿白滝線のう回路として、白倉經由地蔵峠線の新設を町として新設すべきではないか。

また自在坊の早期利用を望む。町長 白倉地内の地すべりについては、七ヘクタール以上になる

可決された

主な案件

- 。昭和四十九年度朝日町一般会計補正予算
- 。昭和四十九年度朝日町企業会計病院事業補正予算
- 。朝日町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について（人事院勧告に基づいて職員の給与を十％アップしたもの）
- 。朝日町手数料条例の一部改正について
- 。朝日町立小中学校の設置および管理に関する条例の一部改正について（集落移転に伴い一ツ沢分校を削除したもの）
- 。朝日町社会教育条例の一部改正について（社会教育委員及び体育指導委員を増員したもの）
- 。公有地の拡大の推進に関する法律に基づく土地開発公社となるための組織の変更について（西村山西部地区開発公社の組織を一部変更したもの）
- 。山形県旧市町村職員恩給組合資産管理組合の解散について
- 。町有財産の処分について（県農地管理公社に売却したもの）
- 。町道路線の認定について（中沢地内旧国道を町道に認定したもの）
- 。固定資産評価審査委員の選任について同意を求める件（立木阿部惣五郎氏が選任された件）
- 。朝日町大沼簡易水道布設工事事業施行について
- 。専決処分の報告について（普通共用林野の状況報告、朝日町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、朝日町税条例の一部を改正する条例、朝日町国民健康保険税条例の一

部を改正する条例の専決処分について承認を求めたもの）

請願・陳情

。五百川橋架替反対陳情（五百川橋架替道路建設反対同志会 陳情）

総務建設委員会附託
。内陸循環線（旧左荒線）の早期実現方についての陳情（町商工会会長陳情）

採択
。水本内高山線の町道編入方陳情（水本区長陳情）

採択
。昭和四十九年産生産者米価価格の引き上げ並びに昭和四十八年産生産者米価価格追加払等についての早期決定と農業危機突破、国民食糧確保の基本的農政確立に関する請願（三農協長請願）

重要な点になっているが、この問題を実に解決するには、社会教育の面からも取り組む必要があるのではないかと考えている。今後、社会教育をより強力にすすめたい。

鈴木長十郎 完成間近の広域老人ホームを住民がどのように受けとめているか。また入所予定者等はどうなっているか。

町長 広域老人ホームは当初、七月一日開所の予定であったが、一ヶ月遅れ八月一日になった。入所者については少なく、補助金にも影響し困っている。

住民課長 現在まで、入所予定

入所者が少ない

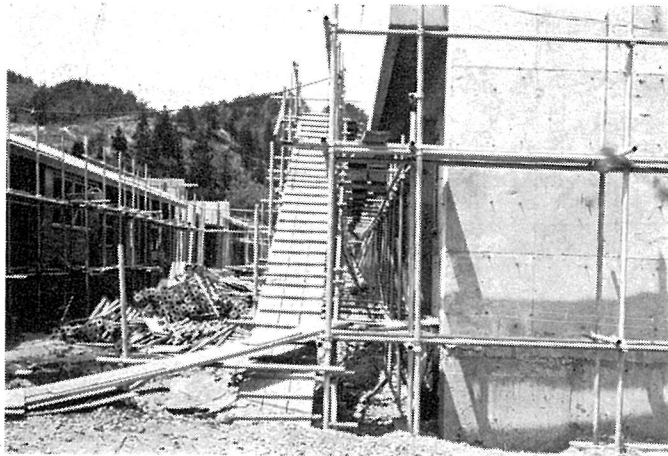
鈴木長十郎 近年福祉社会の充実がとえられ、老人福祉問題も

老人ホームの

後にくいを残さないよう慎重に行ないたい考えです。

町長 老人福祉については老人福祉相談員を六月より一名増員した。またねたきり老人にはおしめの支給などをやっている。福祉の充実は何といっても暖かい家庭にありその意味でも、社会教育はすすめるなければならないと考えている。

教育長 町長のいうとおり、老人の幸福は、暖かい家庭にある。



「完成まちかの
老人ホーム明鏡
荘」

者は二十七・八名で町からは十名
となっている。老人ホームが完成
すれば、そのイメージなども積極
的に知らせて秋までには五十名に
したい考えです。

阿部庄次郎「太郎ざい道バイパ
スや、舟渡・用間の架橋の用地取
得や道路問題、あるいは太郎・松
程基幹農道にともなう上郷家屋移
転など予定された架橋・道路改良
にともなう取付用地・家屋移転で
住民はその内容を知らされない場
合があり心配している。
なるべくその内容を早く明らか

にして、関係者を安心させるよう
行政にもっと親切的な配慮を望みた
い。

町長「ご質問にある事業はまだ
確定しておらず、予算措置が流動
的です。町としては、いたずらに
不安を起こさせないためにも、確
定した時点ですみやかにお知らせ
したいものと思います。

清野力二「最近町内においても
企業労働者が大幅にふえているが
労働者の労働条件、労働福祉等に
ついて、どのような行政指導を行
っているか。

町長「町としては
労働講座の開設を行
ない、経営者・労働
者共に指導している
また給与をはじめと
する労働条件も調査
して、県平均の水準
に引き上げるよう指
導しています。

鈴木正二「狂乱物
価といわれる世相の
中で勤労者・農民の
不安は大きい。とく
に果樹生産者の場合
生産資材の高騰など
実所得の減少が考え
るが町としてはどう
対処するか。

町長「物価の高騰には町として
も非常に困っている。農家に対し
ては、このような時こそ良質の農
産物の生産の努力が必要であると
指導しているが、町だけでは解決
できない問題であり、流通機構の
近代化、農産物の価格補償制度の
改善など、県・国に強く働きかけ
ていきたいと思っています。

鈴木正二「豪雪による被害で例
年になく道路の破損ができたが、
復旧の見通しと財政措置はどうな
っているか。

町長「町内の主要道は全部通行
可能となっており、修理・整備も
今年度の予算でできる見通しとな
っています。

このあと、とくに危機に直面し
ている農業問題について、東清一
郎、鈴木幸一両議員から関連質問
がありました。

また、各委員会に附託されてい
た問題について、つぎのように報
告がありました。

。総務建設委員会
松程下道線町道編入に関する請
願……採択
町道曲淵線の一部改良工事に對
する請願……継続審議
。産業経済委員会
魚族繁殖保護事業に関する補助
金交付方陳情……採択

統合中学校の 校名を募集します

生徒に夢と希望を

宮宿・西五百川・大谷の三つの
中学校を統合し、昭和五十二年四
月開校を目標に建設している新統
合中学校の校名を広く一般の方々
から募集します。

建設場所は宮宿字上の田地内で
前方に国立公園朝日岳と月山を眺
望できる環境のよい教育の殿堂に
ふさわしい所です。

ふるって応募して下さい。

一、応募要領

わが町の豊かな自然・風俗・民
情をもち込み、新鮮で躍進性をめ
ざすもので、さらに生徒に夢と希
望をもたせるような校名を募集し
ます。

◎県内にある中学校校名はさけてく
ださい。

たとえば県内には、朝日村立朝
日中学校、最上町立最上中学校が
あり、間違いやすいからです。

◎字数は漢字で三字以内で命名の
理由を明記して下さい。

◎申し込み期限は八月二十日まで
当日消印有効です。一人何通でも
結構ですが、必ず封書にしてくだ
さい。

◎あて先は、山形県西村山郡朝日
町教育委員会「校名募集係」まで

「校名募集係」は朱書にしてくだ
さい。

◎応募には、校名のほか、住所・
氏名・年令・性別・職業を必ず明
記して下さい。

二、発表

十月上旬で広報あさひに掲載し
ます。

三、賞品

(一) 入賞一点 三万円

同名多数の場合抽せんの上
決定します。次点の方には
記念品を贈ります。

(二) 佳作三点 各二万円

同名多数の場合抽せんの上
決定します。

四、その他

応募作品は返却しません。応募
いただいた中に適当な名称がない
と認めるときは、建設委員会等で
再検討する場合があります。

なお、この校名募集は、朝日町
誕生二十周年記念事業の一つとし
て行なうもので、入賞者の表彰も
十一月に行なわれる記念式典の席
上で行なう予定です。

健康をたいせつに

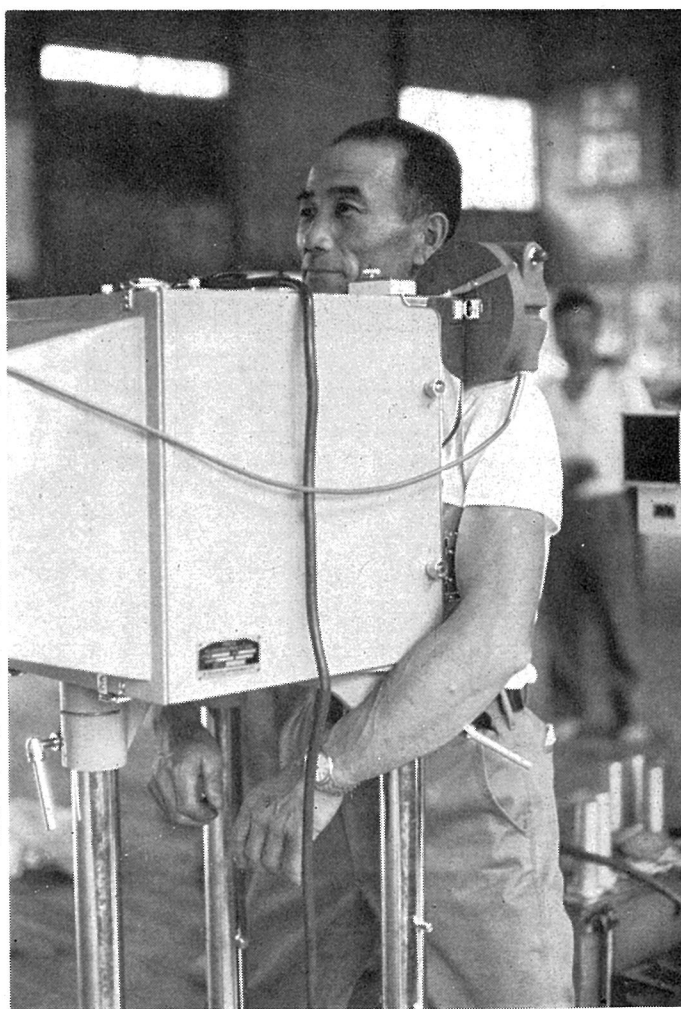
＝大沼などで過疎検診＝

今年度二回目の過疎検診が、六月二十八日の大沼地区からはじまりました。

この過疎検診は、毎年三回、医療施設に遠くてなかなかお医者さんにみてもらう機会のない、水本白倉、大舟木、今平、大暮山、大沼の五地区を対象に行なわれているものです。

六月二十八日には大沼、七月一日には大暮山で行なわれ、地区の

「忙しい農作業の合い間をみてやってくる——みんながそうなってほしいものだ」



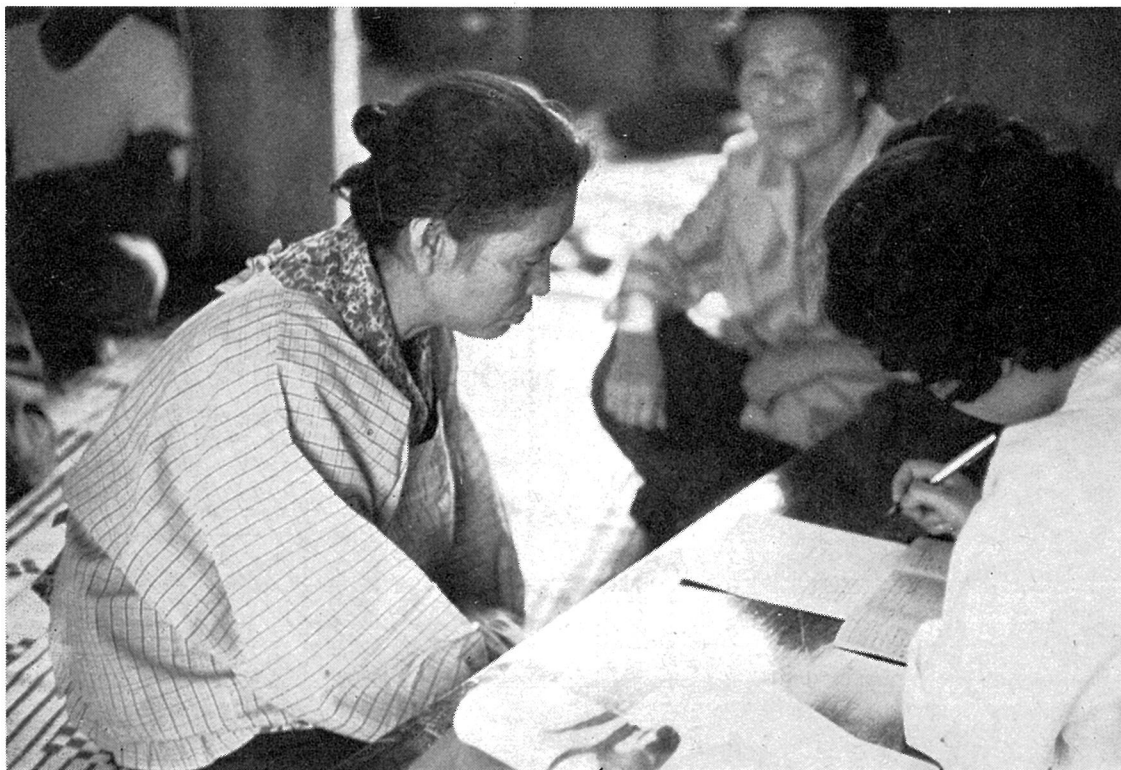
「先生の健康のために先生方も身をのりだして検査する」

「検査師の方もしんげんな表情」



「待つ人々の間にも、健康のたいせつさが話に出る」





「検査後の保健婦さんの説明に耳を傾むける大沼地区の人々」

方々は農作業の合間を見て検診を受けました。
最近を受診率もよくなっていますが、早期発見、早期治療が金もかからず、時間もかけないで治療できることを考えて、該当者全員がいつも受診するようになってほしいと保健婦さんは語っておられました。
自覚症状のない病気も多くなっている現在、自分の体は自分にしかわからないことを考え、健康なときにこそ受診して、安心して働けるようにしたいものです。



「検査を受けて安心——帰りの足どりは軽やかだ」

教育 レポート

校外生活を見直す

子供たちによい遊びを

いよいよ夏休みが近づきます。毎年のことながら、夏休み中の子ども
の生活をどうするか、といったことが問題になります。とくに町内の状
況を見ると、次々と企業が誘致され、働く母親がふえ、子どもたちを取
りまく生活環境も大きく変わりつつあります。
そこで今月は、子どもたちの校外生活の問題を取りあげてみることに
しました。

少なくなつた

遊び場所

子どもを安全にのびのびと遊ば
せたいということは、親の願いで
す。こどもの自然は遊びであり、
遊びの中からいろいろ学び成長し
また故郷を愛する心が生まれるも
のと思っています。

しかしこの頃では、交通量の増
大とともに、交通事故も多くなり
工場誘致・原料置場などであき地
広場を失っています。また水難事
故も心配です。

果樹栽培が進んで、土地の管理
もむずかしくなり、うさを追う
ところも、小ぶなをつる所もな
くなりました。

家庭でも、こどもの数が少なく
なり、親の心理にも大きな変化が
でてきました。進学がまず第一と
なり、農作業の手つだいもさせな
いようになつたし、テレビの普及
で家から動かない子どもが多くな
りました。

昔のように、捨て作りというこ
とばで表現されるとおり、多忙に
まぎれて放任し、内心ひやひやし
ながらも結果的に成長していたこ
とと、今の安全を重視し、山野を
かけまわらないこどもの成長とど
ちらがよいかは、そう簡単に決め
られることはありません。

安全な

遊び場を

しかし、安全な環境のもとで、
経験豊かなこどもの成長をめざす
のが最もよいことは、いうまでも
ないことです。それが朝日町の明
日になうこどもを育てることで
あり、町に愛着をもたせることに
もなりましょう。

このことは、交通戦争、工場誘
致が進む中で、少しずつ方法がと
られ、対策がうたれていきます。

道路で遊ぶこどもが少なくなり
集団登校が徹底し、プールがあち
こちにでき、道路や橋も人と車の
分離という点ではだいぶ整備され
てきました。

各地区にこども会の育成協議会
ができ、町当局、学校や部落など
が経費を負担し、こどもの集団化
と遊び場の設定に努力し、行事に
は、補導員がどのようにこども会
を育てたらよいかに苦労していま
す。

しかし、こども本来の姿がどの
ようなものであり、どうすれば正
しい成長が望まれるかについては
これからの研究をつづけなければ
ならない課題です。

「野外キャンプなど
は大変有意義です。
そのためにも町営キ
ャンプ場の設置が望
まれる」

考えたい

冬の遊び場

年齢差、個人差があるこどもの
集まりを、一つの方向、一つの行
事に結集させるには、興味の一致
という点だけでもむずかしい問題
を含みます。

小学生から中学生までを一しよ
のグループに入れて行事をもつこ
とは、こどもらがなじまないし、
分けるとどうしても世話をする人
手がかかります。

中央、西部、北部の三つの公民
館は、こども会育成協議会を組織
して、この問題と取り組んでいま
す。



補導員研修会で講師の話をきき
ジュニアリーダー講習会では主と
して各部落の高学年を対象に、キ
ャンプ技術の向上をはかり、出稼
ぎ期間には、親子通信の推進もは
かっています。さらに三地区ごと
にキャンプ技術の伝達講習や文化
教室を開催して、さらに地区内の
活動を活発にする考えです。

ただ毎年、施設の不足が悩みの
種です。安全に遊べる広場、遊具
が地区ごとにならないので、行事を組
むのに苦労します。

いきおい、せまい屋内での「送
る会」に限定されてしまいます。
冬季のスキー場、屋内競技の適
当な所がない地区では、運動企画



「遊具なども整備されつつある。
しかし、それが子どもの創造的な遊びを
失わせる結果になりはしないだろうか。」

もなくなり、こどもは部屋にとじこもってしまします。
部落によっては、遊具をそなえた広場の設定をめざしている所もありますが、一部落だけでは無理な所が多く、数部落による共同設置が考えられなければならないでしょう。

スキーなどはぜひ楽しませたい

冬のスポーツですが、果樹地帯では枝折れ、負傷のことが心配されますので広く地区一カ所を設定して、使用させたいものです。

望まれる

育成組織

こうして数部落の協同利用が進むと、校外組織の連合体がうまれるでしょう。
こどもの数が増えていく現在、一部落では数名という小人数にな

っていますから、いろいろな企画が組みにくく、その中に小学生、中学生、男子、女子がかたよっていると、何をしたらよいのか頭をいためます。

実際スポーツの試合などで、人数がたりなくてチームが組めないときは、隣部落との協同行なわれています。

それを七夕行事、卒業生を送る会にまで広げたら、多彩な内容で手間もへるのではないのでしょうか。ただ部落間の感情という点では何につけむずかしい問題があり、できるならば部落単独で実施したい気持ちがあるのも事実です。わずらわしい事があると、協同というよりしないですまそうという事になり、行事が流れがちです。
毎年いっしょにやるところを決め、恒久化をはかったらどうでしょうか。

数部落の協同化が進んだら、その中に一しよに遊んでくれる指導員のできることが望まれます。
既に社会体育のリーダーが生まれているように、継続して数年子どもらとスポーツ、キャンプを楽しんでくれるような若い層の進出が期待されます。

その人の知っている範囲でよいわけですが、キャンプやサイクリングにも基礎となる技術があり、ルールがありますので、その指導力があれば子どもをひきつけるのにより効果的なのわけです。

一部落ごとにはむずかしくとも

部落協同でやれば人材も豊かになるでしょう。

働く喜びを

知る子どもに

現代の人間に問われていることに、公共心の欠如ということがあります。

公共の物、場所を愛し、大切にすることは、こどもの頃からしつけることが必要です。

興味ある行事にこどもが集まるように関心をもたせて、奉仕の作業を組みこむ必要があります。

清掃作業をさせることにより、汚さない、こわさないしつけをつけさせることが大事です。

マスコミの発達で、家庭や自分の部屋にとじこもる生徒が多くなりました。テレビでも雑誌でも、あまりによくできていて、こどもから考える時間と行動をうばってしまします。

遊ばせることにより、さまざまな体験をさせ、自分で作ることにより創意工夫の心を伸ばすことが真の意味の成長をさせることになるのではないのでしょうか。

農作業、家の手伝いも習慣づけておきたいものです。手伝いを通して生活の基礎を覚えさせ、自分のできる分野はするように、自分のまわり、持ち物を整理する習慣を生涯のために、今しつけておかなければならないのです。

学習時間の確保についても、一定の時間はするという工夫を親子ともに話し合いたいものです。

学校生活も、対抗競技が近づいて、クラブ活動の盛んなどは遅くなりませんが、その時期である六七月をのぞいては、それほど仕事があるわけではなく、もし帰宅が遅い時は、問い合わせても正確な理由を知っておきたいものです。

正確に知っておくことが、親子の対話をなめらかにし、学校、家庭の生活を両方充実させることになりましょう。

それはこどもの服装、持ち物についてもいえることで、こどもの話だけで買ってやったり、お小遣いを与えることは、ぜいたくな持ち物の競争をひきおこします。

金銭、所持品は、他のこどもの姿、学校の方針をよくしらべてから慎重に与えたいものです。

次第にそれが欲しいからもってきたという事故につながらぬようそして、まさかうちの子がという気持ちから手ばかりがないよう、せっかくな素直な朝日の子らを、正しく明るく育てたいものだと思います。

水の事故を

防ぎましょう

暑くなると子どもの水死事故が多くなります。みんなが注意し、事故を防ぎましょう

朝日分校生

ありがとう

さる五月十二日、朝日ロータリークラブ認証伝達式を、左沢高校朝日分校生の協力を得て、開発センターに約三百三十名の方々を集めて、盛大に開催することができました。

その時高校生には、駐車場案内・会場整理・受付・接待などの仕事をお願いしましたが、その仕事ぶりには、私たち会員も驚くほどの活躍ぶりでした。

陰ひなたのないこと、ハキハキした言葉と態度、心からお客さまを迎えようとする態度には頭の下がる思いが致しました。

お世辞めきにして、朝日分校生がこんなにつばな生徒であるとは思いませんでした。

朝日町民として誇りにさ 感じた次第です。

特に、高校生をもつ会員と夫



人には、朝日分校に対し、認識と理解を深めるために、大いに役立ったことは事実のようです。このことばが、単なるお世辞でないことは、この認証伝達式に参加した他クラブ員から安達会長あての、高校生を賞賛する手紙をみてわかります。

こうして朝日分校生への認識が他県・他市町村で深まってくことは、これからの就職等にも大いに期待できるものと思っています。

このように立派な生徒に指導なされた校長先生はじめ各先生PTAの皆さんの努力に心から感謝するとともに、それにこたえた生徒の皆さんに、これから大いに奮闘、活躍されることを心から期待して、ご協力に對し厚くお礼申し上げます。

(ロータリークラブ会員)

ご意見を

お寄せ下さい

係では、みなさんからのご意見をお待ちしています。

町政に対するご意見・提言・あるいはみんなに知らせたいような心暖まるでき事など何でも結構です。

どしどしお寄せ下さい。

母子推進員決まる

妊産婦の健康を守る

町の衛生係・保健婦と連絡をとる、妊婦に早期届出をすすめ、母子栄養食品(ミルク)支給の手続きの指導のかたわら、各種検診への参加をよびかける母子推進員が決まりました。

妊婦の方々のご相談などは、この方々にお願ひして下さい。

鈴木ヤス子(本町) 佐藤久子(西町) 大津さよ子(栄町) 布施正子(助ノ巻) 多田きよ子(大町) 海野久子(元町) 阿部きよ(西原) 成原君子(前田沢) 成原とみ(新宿) 長岡綾子(四ノ沢) 鈴木つや子(小原) 貞神りん(宿菅井イサ子(沼向) 鈴木かつ子

(大隅) 渡辺はるえ(古樹) 渡辺勝子(送橋) 渡辺きよえ(下芦沢) 岡崎和子(水本) 安藤ハル子(杉山) 安藤そよ(松原) 柴田のし(宇津野) 柴田テルヨ(大滝) 鈴木良子(雪谷) 長岡恵美子(常盤) 長岡はま子(常盤) 斎藤さき子(夏草) 斎藤智子(長沼) 鈴木かちの(西舟渡) 阿部はつよ(八ッ沼) 志藤薫子(能中) 長岡きみ(高田) 長岡トキ子(太郎一) 菅野あや子(太郎二) 長岡せい(太郎三) 長岡悦子(石須部) 阿部よし(立木) 加野きよ(白倉) 長岡重子(松程) 佐藤はる(大舟木) 小松キヨ子(今平) 大竹すずる(大谷一) 白田たまよ(大谷二) 菅井かつ(大谷三) 阿部恒子(大谷四) 早坂トキエ(大谷五) 渡辺よし子(大谷六) 村山てる(大谷

七) 五十嵐とき子(中沢) 遠藤敏子(真中) 堀康子(舟渡) 遠藤しづ(栗木沢) 志藤ちよる(川通) 川口好子(大暮山) 白田京子(大沼)

ファイターズが優勝

町民バスケット大会開く

さる六月二十三日、第二回町民バスケットボール大会が、町民体育館で行なわれました。大会には六チーム七十人が参加し、スピードあふれる熱戦を展開しました。

成績は次のとおりです。
一位 ファイターズ
二位 五百川クラブ
三位 石楠花会



道路情報

◎県道山形朝日線 送橋川砂防工事のため、送橋地内で片側通行止めとなります。

期間は7月1日から9月30日までです。ご注意ください。

求人情報

◎形屋メリヤス男子2・3名 女子10名 募集初任給男子5万5千円以上、女子4万円以上、勤務時間8時から5時15分まで(バス時間に合わない方は相談に応じます) 日・祭日・年末年始・夏休み有り、昇給年1回、賞与年2回、各種保険、宿舍有り、くわしくは当社へ(TEL 2325)

図書館情報

◎新刊図書がはいりました。ベストセラーを中心にそろえています。どうぞご利用下さい。

回想のルパン(小野田正一) 日本青年革命(糸山英太郎) やせる健康法(中村敏一) しいたけ健康法(森喜作) 狐狗狸さんの秘密(中岡俊哉) モッキンポット師の後師末(井上ひさし) 月山(森敦) 鳥海山(同) アラスカ物語(新田次郎) 雪舞(渡辺淳一) 母子変容上・下(有吉佐和子) パーマネントブルー(素九鬼子) 風の息上・下(松本清張) どてらいやつ1(花登肇) 怒る富士上・下(新田次郎)

がんばれ朝日分教生

新グラランド新校舎で

さる六月十日、左沢高校朝日分校では、グラランド・新校舎竣工式が行なわれました。

朝日分校では、グラランドがせまいため、野球やソフトボールなどの球技やトラック競技など思い切ったスポーツができませんでしたが、また、北側校舎は老朽化し、す

ぐわきが急なけとなつてゐるため危険となり、安心して勉強することができませんでした。

そこで、四十五年五月のPTA総会の席上、グラランド建設を決議して以来、実行委員会を設立して県議会などに陳情を重ね、今年三月ようやくグラランド整地、新校舎の建築が完成したものです。



竣工式では、山上校長が「不便な校舎、グラランドでも一生懸命学んできた先輩のことを思い、町民の暖かい理解にこたえるためにも奮起してほしい」とあいさつし続いて後援会長である町長をはじめとして、祝辞がありました。

「町民の期待にこたえるためにもがんばりたいとあいさつする生徒代表」

最後に、生徒代表から、「がんばる校舎・グラランドで学ぶことができることに心から感謝し、期待にこたえるためにがんばります」と感謝のことがあり閉会しました。

私たちも、スポーツに勉学に、朝日分校の活躍を期待したいと思います。

送橋小など大活躍

西郡剣道大会開く

さる六月三十日、第二十三回西村山地区剣道大会が河北町谷地高校体育館で行なわれました。

わが町は以前より剣道熱が高く、各種大会に優秀な成績をおさめていますが、この大会でも小学校の部で送橋小が、二年連続優勝をするなどめざましい活躍をみせました。

成績は次のとおりです。

●団体の部

。小学校男子 ①送橋A

スポーツで

体力づくりを

体育協会で会員募集

体育協会とは、各種スポーツレクリエーション団体が集まって組織しているもので、各団体とも定期的な練習会を行なうとともに、町民こぞってやれるいろいろな体

。中学校男子 ②大谷A
③大谷B

。高校男子 ②左沢朝日

。一般二段以下 ①朝日町

。一般三段以上 ③朝日町

●個人の部

。一般二段以下 ①佐々木辰一

③石井喜久男

。一般三段以上 ②白田富彦

「わが町の剣道熱は高い」



育・スポーツの事業・大会等を開催しています。

体育協会各加盟団体(剣道、柔道、卓球、野球、バスケット、バレー、バドミントン、陸上、山岳釣友、囲碁、将棋、ダンス)では、いま会員を募集しています。申し込み方法などくわしくは体育協会事務局(開発センター内TEL七二二一一)までお問い合わせください。

町職員

募集について

つぎの要領によって、町職員を募集します。

応募締切 49年8月10日

採用予定人員 若干名

職種 一般事務職及び保母

応募資格 当町に在住のもので

次の要件をみたす者

(1)年齢要件 昭和二十五年四月

一日以後に生まれ

た者

(2)学歴要件 高校卒業以上の者

または来春卒業見

込みの者、保母に

ついては資格を有

する者、または来

春まで取得の者

試験期日 十月二十七日に県人

事委員会に委託して

教養試験を行なう。

第一次合格者に二次

試験を行なう。

採用期日 昭和50年4月以降

給与 町給与条例及び同規

則による。

その他 申込み用紙は役場総

務課にあります。添

付書類は履歴書と健

康診断書、写真です

なお、この他くわしくは役

場総務課におたずね下さい。

青空の下で楽しく

蚕伸会で交換会開く

さる六月三十日、蚕伸会では、長井市のグンゼ社員と交換会を開きました。

蚕伸会は養蚕をやっている仲間約四十人が集まって研究会を作っているもので、四十七年に結成さ

れた平均年齢二十六歳という若いグループです。

この交換会は昨年から始まったもので、グンゼの若い娘さん二十二人は各グループに分かれ、蚕伸会の会員を訪問、自由行動をと



「楽しいひとときをすごす蚕伸会の交換会」

たあと、午後から寒河江のさくらんぼ狩りをみんなで行ない、楽しい一日を過ごしました。昨年も、この娘さん方に養蚕の仕事を手伝ってもらったなど、製糸

従業員たちは養蚕のことを、若い養蚕者は製糸のことを、おたがいに勉強し、理解を深めあいました。

現在蚕伸会の会員平均收購量は七百キロですが、先進地視察、繭質改善コンクール、会員相互の技術研修を通して、最終目的は全員が一トン農家になることだと話す会長の長岡彰太郎さんのことばに

知事、山くずれ

現場を視察

さる六月十四日、板垣知事が、白倉山くずれ現場、宮宿―白滝線立木地内道路欠陥か所を視察に訪れました。

知事は現地視察のあと、白倉の地盤沈下により傾むいた家屋も視察しました。

そのあと白倉部落の代表の方々に対して、「白倉地内の山くずれは、大蔵村よりも規模としては大きいようです。しかし大蔵村では死傷者が出たため、早急な対策が必要となり、こちらへくるのが遅くなりました。」

今後は現地を調査の上、町とも連絡をとって対策を講じていきたい」とあいさつし、部落の方々も早く安心して働けるようお願いしました。

は、中核農家への自覚と青年の若さがあふれていました。私たちがこの蚕伸会の活躍を期待したいと思います。

大蔵村に

義えん金を贈る

本町子ども会へ

このほど、本町子ども会では、



「現場を視察する知事」

愛の献血を

たがいに助け合おう

六月二十七日、太郎会館と西部公民館で献血が行なわれました。交通事故の多発など、救急の場合の血液は、なにものにもかえがたい大切なものですが、なかなか集まらずいつも不足しています。この日は、太郎で十五人、西部



大蔵村の子どもたちのためにと、義えん金一万五千円を贈りました。これは、本町子ども会のみならず、廃品回収をして得たお金を教育委員会を通じて贈ったものです。

現在、教育委員会には、大蔵村から本町子ども会あてお礼状が届いています。このほほえましい話が話題になっています。

公民館で三十二人の方々が献血に応じて下さいました。

県の血液センターからきた方々や係では、この方々に心から感謝しておりますが、もう少し多くの方々に協力をお願いしたいと語っています。

献血をした方々は、万一血液を必要とする場合、優先的にいただけることになっており、そのような場合のためにも、健康な時に、献血をしておきたいものです。

「献血のひとコマ」

親子で楽しく

北部地区野外のつどい

町内では初めての試みである北部地区親子の野外のつどいが、六月二十三日大谷地内を中心に行なわれました。

このつどいは、オリエンテ

ングと呼ばれる競技を行なったもので、磁石と地図をたよりに、決められた場所をさがし出して歩きその速さをきそふものです。

つどいには、親子あるいは小中



「足どりも軽く、元気にゴールイン」

高校生で組んだ四十一組百二十四人が参加し、大谷小学校から馬神ダムまで八つのポイント地点をさがして歩きました。オリエンテリング終了後、昼食をと

成績は次のとおりです。

一位 阿部幸吉・阿部英男・川口

文雄組(大暮山)

五十九分二十四秒

二位 志藤キミエ・志藤みどり・

志藤優子組(栗木沢)

一時間十五秒

三位 遠藤衛・遠藤千恵子・五十

嵐美智子・五十嵐賢一組

(舟渡)

一時間三十分二十五秒

健脚をきそ

青年大会開く

山形県大会の予選を兼ねた第三回朝日町青年陸上大会は、六月三十日、宮宿中学校グラウンドで行なわれました。

大会には、町内の青年約百名が参加し、一般競技のほか、混合二人三脚やむかで競争などを行ない和気あいあいといったふんい気でした。

入場行進では、プラカードコンクールも行なわれ、それぞれ色とりどりのプラカードをもって入場行進をしました。

青年の心身の健康を向上させる目的で開かれているこの大会ですが、年々参加者が減っており、もっと気軽に参加して、町の青年と



三中郵便局が移転

若月さん宅へ

六月十七日から西舟渡の三中簡易郵便局が、鈴木辰雄さん宅から若月清五郎さん宅に移りました。鈴木さん宅では七年の長い間、郵便局の業務をやってこられました。夫婦だけで商店の配達業務と兼務しなければならぬため、留守になることが多く、この移転となったものです。



「郵便箱を取りつける若月さん」

して団結を深めてほしいものだと関係者は語っておられました。成績は次のとおり

◎総合 ①大暮山青年会 ②玉の井青年会 ③和合青年会
◎男子百メートル ①若月秀俊

◎男子二百メートル ①高橋勇
◎男子四百メートル ①渡辺勝
◎男子千五百メートル ①渡辺勝
◎男子一万メートル ①渡辺勝
◎スウェーデンリレー ①和合青年会 ②大暮山青年会 ③水本青年会
教室

◎女子百メートル ①工藤茂子
◎女子二百メートル ①工藤茂子
◎男子走り幅 ①菅井泰美
◎男子走り高 ①菅井薫
◎男子砲丸投 ①堀謙一郎
◎女子走り幅 ①工藤茂子
◎女子走り高 ①工藤茂子
◎女子砲丸投 ①工藤茂子
◎混合二人三脚 ①サニークラブ
②三中青年会 ③玉ノ井青年会
◎むかで競争 ①太郎・三中混合チーム ②サニークラブ ③大暮山青年会

郵便局だより

七月から

日曜配達休止

郵政省では、日曜日の郵便配達を休止することについて、かねてから検討しておりましたが、このたび朝日町三局（大谷、宮宿、西五百川）が、日曜配達をきたる七月二十一日（第三日曜日）から、休止させていただくことになりました。

ご承知のように、欧米各国をはじめ、世界の大多数の国々は、すでに半世紀も前から日曜配達を廃止し、今日では、郵便の日曜配達休止は、世界的情勢となっており

ます。日曜日の配達を休止いたしましたも、利用者の皆様にはなるべくご迷惑をおかけすることのないように、速達郵便物は日曜でも配達

いたしますし、また月曜日には出勤時間を早くして、日曜日の分も配達できるよう万全の態勢をととのえることにしておりますので、ご協力をお願い致します。

戸籍の窓

出生

49年6月1日～6月30日まで
部落 出生者氏名 父名 続柄
大沼 小林 絵美 俊一 二女
大谷四 白田 和子 晴雄 二女
送橋 清野久美子 恒彦 長女
大谷四 佐藤 貴子 国雄 長女
大谷四 神戸 裕介 良知 長男
大町 鈴木 涼子 正二 長女
大町 長岡 明博 芳博 長男
下芦沢 阿部 直子 正春 三女
大谷七 小野 啓子 勝雄 長女
松程 鈴木さゆり 栄 長女
小原 鈴木 真英 忠 二男
大谷 池田 梨絵 伸一 長女

死亡

49年6月1日～6月30日まで
部落 死亡者氏名 年齢 世帯主
大谷三 柏倉 倉吉 86 正吉
大滝 柴田 さつ 77 亀之助
大谷一 白田ちよの 67 千代男

交通安全用の

帽子と腕章を贈る

このほど、朝日ロータリークラブでは、町内の三中学校、西五百川・立木・宮宿・上郷・和合・送橋・大谷小学校に対して

全部合わせて、交通安全の街頭指導用の帽子と腕章各二十を送りました。

この帽子、腕章は黄色で帽子には学校の記号である「文」の文字が入っていて一目で学校のものだとわかるようになっていきます。

交通事故の多い季節でもあり各学校ではこのご好意に感謝し交通指導を徹底し、大切な子どもたちの安全をはかりたいと語っております。

西部保育所に

庭木を贈る

西部保育所ではこのほど、保育所地内の整地作業などを行ないましたが、庭木なども整理して植えつけられました。

この庭木は、保育所に緑がほしいと語っていたのをきき、園児を持つ方や近くの方が送ってくださったものです。

保育所では緑や自然を大切に子どもを育てる上でも、大変ありがたいと語っておられました。

山形市 真中
川村 文夫 庄田美樹子

訂正とおわび

広報あさひ六月号の十三ページの「投票区がかわります」で、「第三投票区 送橋小学校 古楨 送橋・下芦沢」は「第三投票区 和合小学校 小原・宿・沼向・大隅と第四投票区 送橋小学校 古楨・送橋・下芦沢」の誤りでした。また、十四ページ「商工会の従業員表彰」で、吉田タクシの佐藤せつ子さんは丸八理容所の誤りでした。

おわびして訂正いたします。

